

京西テクノス 2社買収 医療・計測機器など保守拡充

【立川】京西テクノス（東京都摩市、臼井努社長）は、海洋ソナー技術を有するアセック（東京都府中市）と、医療系システムに強みを持つITプラス（同目黒区）の2社を6月30日付で完全子会社化した。買収額は非開示。自社が主力としてきた医療や計測、情報・通信機器の保守・製造設計や特殊環境対応

ービスの付加価値を高める狙い。収益構造の改善を推進し、2025年9月期に7%だった売上高営業利益率を、30年9月期には10%超に引き上げることを目指す。

アセックはソナーやメカトロニクス、工業用計測器といった分野において、電子機器構造設計や特殊環境対応設計などの技術を持つ。社員44人、25年度売上高は7億円。ITプラスは全国37病院に医療情報システムの仮想化基盤を構築・導入した。社員7人、26年度売上高見通しは26億円。両社ともに従業員

秀博社長が取締役に就き、後任の社長は京西テクノスの臼井社長が兼務する体制とした。臼井社長は「今回の買収は企業の事業承継という社会的課題の解決につながる」と同時に、グループの競争力強化にも寄与する」と強調。設計や開発を担う高度人材を活用して新卒採用

や経理といった間接部門の効率化も図る。同社は25年9月期に売上高200億円を達成。26年9月期もM&A（合併・買収）などで大幅な増収増益を見込む。ただ、全体の約2割を占める入札案件は経費率が高く、収益性に課題があった。今回の2社買収により、高付加価値事業の比率を高め、収益構造の改善を進める。例えば医療分野では将来的に、病院で稼働するシステム、機器、ITインフラのワンストップサービス実現を目指す。